

BYD、ハンガリーに欧州統括本社と欧州研究開発センターを新設

- 本社設立により数千人規模の高付加価値な雇用を創出
- 欧州研究開発センターでは、まずは「モビリティの知能化」と「次世代電動化技術」に焦点
- 欧州でのローカライゼーション方針をさらに後押し



世界最大級の新エネルギー車メーカーである BYD は、欧州事業の統括本社をハンガリー・ブダペストに設立し、併せて欧州研究開発センターを新設することを発表しました。

この取り組みにより、ハンガリーの首都ブダペストでは、数千人規模の高付加価値な雇用の創出が見込まれています。また、国内の少なくとも 3 つの大学と連携し、研修や高度な教育の機会を提供します。

新本社はブダペスト 11 区に位置し、これにより BYD のハンガリー国内における拠点は、コマーロムのバス工場、フォートおよびパーチの施設、さらにセグドに建設予定の乗用車工場に続く 5 拠点目となります。

新設される欧州研究開発センターでは、まず、多額の投資を伴う 2 つの重点プロジェクトを始動します。第 1 のプロジェクトでは、モビリティへの知能化技術のさらなる統合を進め、第 2 のプロジェクトでは、次世代電動化技術の研究・開発に取り組みます。

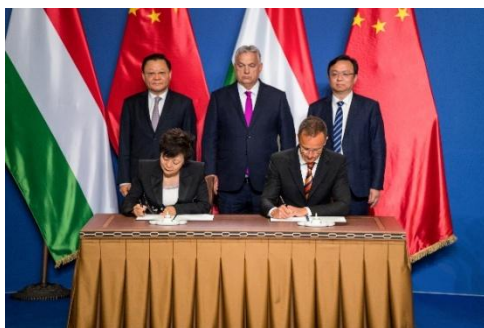
BYD は、欧州におけるローカライゼーションの方針を具現するものとして、ハンガリーで開発された技術の特許化し、国内のスタートアップ企業やサプライヤーとの協業を進めることを表明しました。同センターにおける従業員のうち、高等教育修了者が占める割合は、少なくとも 90% 以上を見込んでいます。

■ヴィクトル・オルバーン ハンガリー首相のコメント

我々の目標は、外国投資家に製造だけでなく開発機能もハンガリーにもたらしってもらうことです。まず最初に工場が来て、その後に開発センター、そして研究センターが来る、すなわち、生産があってこそその開発であり、開発があってこそその研究、というのが私たちの考え方です。今回の合意は、BYD がハンガリーに開発拠点をもたらすこと、つまり、新たな時代を切り開くことを意味しています。

■BYD 会長兼 CEO の王伝福のコメント

欧州事業の統括本社をハンガリーに設立することは、当社にとって、ごく自然な選択です。ここでは、販売・アフターサービス、車両の認証・試験、そして地域に応じた車両設計・機能開発という3つの主要機能を担います。これにより、現地市場との統合をより一層深め、ローカライゼーション能力とブランドの影響力を向上させ、欧州における持続的成長を実現していきます。



【BYD（比亞迪/BYD Company Limited）について】

1994年に充電式バッテリーメーカーとして設立。現在は自動車、軌道交通、新エネルギー、エレクトロニクスの4事業を展開し、世界6大陸・100以上の国と地域・400以上の都市でゼロエミッションエネルギーソリューションを提供。香港と深圳証券取引所に上場、フォーチュン・グローバル500企業。詳しくは <https://www.bydglobal.com> をご覧ください。

【BYD Auto について】

2003年設立。純電動車およびプラグインハイブリッド車の開発に特化し、バッテリー、電動モーター、パワーエレクトロニクス、車載半導体といった新エネルギー車の全バリューチェーンで中核技術を保有。ブレードバッテリー、DM-i/DM-p/DMO ハイブリッド、e-Platform 3.0、CTB 構造、DiSus インテリジェントボディコントロールシステム、Xuanji アーキテクチャなど革新的技術を次々と実用化し、世界で初めて化石燃料車の生産を停止した自動車メーカーとなっています。

【BYD Europe について】

オランダに本拠を置く BYD グループ初の海外支社。最先端技術を軸に、安全かつ効率的な持続可能モビリティソリューションを欧州市場に提供しています。

【参考資料】本資料は BYD（中国・深圳）が発表したプレスリリースを日本語に抄訳したものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については当言語が優先します。

製品に関するお問い合わせ：

BYD Japan Group お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>